

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所きりんくらぶ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの相談事に迅速に対応できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡票などに相談事や気がかりな記載がある場合、その都度手紙か電話にて対応しています。</li> <li>定期的に保護者会やピア交流会などを開催し、悩み事を話し合っています。</li> <li>定期以外に希望があれば面談を行うようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭で困り事があっても保護者から面談を希望されることが少ないので、相談しやすい体制を整えています。</li> <li>送迎の際、お子さんの体調だけでなくご家庭での様子も聞いていきます。</li> </ul>
2	活動プログラムの内容に理解を得られている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用するお子さんの発達に合わせて、活動内容を考えています。</li> <li>多職種の職員がいることで、多方向からお子さんを評価してプログラムを組んでいます。</li> <li>手先を使った活動が苦手なお子さんや、集中力が不十分なお子さんに対しては、個別プログラムを組み対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の目的(ねらい)は明確に、手段(方法)は広げられるように努めています。</li> <li>職員の専門的知識や技術をさらに高めるために、外部研修への参加を促進させて行きます。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援計画(ニーズ)作成時の聞き取り不足。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内での様子を中心に計画立案を進めていたため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者やお子さんの要望などをしっかり聞き、計画を立てるよう見直していきます。</li> </ul>
2	きょうだい支援が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用しているお子さんの支援が主になっていて、きょうだいに関してあまり触れられていないため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談や保護者会などできょうだいが来所した際に、きょうだい関係も含め、ご家庭の様子や困り事を聞いていきます。</li> </ul>